

委員および一般からのご意見

委員からの流域委員会の審議に関するご意見、ご指摘（2002/7/10～2002/8/9）

委員からのご意見、ご指摘はありませんでした。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2002/7/10～2002/8/9）

No.	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
1	塚本ニューバン プー 早川ひとみ氏	×	7/10	私の子供は、昨年夏に「塚本ニューバンブー」に入団させていただき、今週土日、朝から夕方まで元気に野球をしています。それまでは、マンションの前に公園があるのですが、小さな子供たちがたくさん利用する公園、当然野球などは禁止です。夕方小さな子供達が帰ってから、キャッチボールをするくらいです。子供が中、高学年の子達がのびのびと遊べる所は、ありません！野球が出来るのは、淀川河川敷があり、グラウンドを利用出来る事です。ぜひ子供達に野球を続けさせて下さい。
2	塚本ニューバン プー 池内由実氏、 悠喜氏	×	7/10	ひと昔前ならば、空き地や公園などで野球をして遊べた時代でした。しかし今は、どの地域の公園も“ボール遊び禁止”“野球、サッカー禁止”の看板が掲げられております。キャッチボールすらできる場所が無いこの時代河川敷のグラウンドはとても貴重です。ボールが飛んでガラスを割ったり、ボールをおいかけてすぎて車道に飛び出す事もなく、安心してプレイできており、親としても安心です。室内で遊ぶ事が多い現代の子供達。公園へ行くと、「何をして遊んでいいか、わからんからおもしろくない」と帰ってきたこともあります。そんな子供が本当に多いと思います。野球を始めてから、他地域の友達との交流も増し、良かったと思っています。そして、8/3の花火大会翌日の清掃。とてもたくさんの父兄、部員が集まります。やはり、子供たちが使っている河川敷という意識のあらわれではないでしょうか！！
3	塚本ニューバン プー 大森学氏	×	7/10	現在の状況子供達には、学校公園でもボール遊びのできる場所がありません。野球をしたくても周りの大人に“危い”と怒られ帰ってきます。やんちゃばかりしていた子が野球チームに入り野球一筋になり喜んでいきます。うちの子だけではないと思います。これから大人になって行く子供達にとって思いっきり身体を動かすとても貴重な場です。子供はとても不安になっています。「僕ら野球できひんようになるん？どこで野球したらいいん？」何と答えてあげたらいいんでしょうか……。子供達の願い聞いて下さい。宜しく願います。
4	塚本ニューバン プー 大石美世子氏	×	7/11	・近所でボール遊びをする場所が無いので、河川敷がなくなると困ります。 ・野球の大好きな子供達の夢がなくなります。
5	石田依久子氏	×	7/16	公園内でのボールの使用が禁止、道路でキャッチボールをしていたら、それたボールがよその家や植木にあたったといっちは叱られ、ご近所同士、子供も親も嫌な思いをする。車がかかる度に中断しなければいけない。小さな子供達にボールがあたらない可能性はない等、今も昔の子供も野球をするのが好きなのに、のびのびと楽しむ場所が本当にないのが現状です。是非存続をお願い致します。
6	宇治愛鳥緑の 少年団 代表 中島愛治氏	×	7/19	宇治川に思うこと 私たち宇治愛鳥緑の少年団は、昭和61年2月に「自然を知ることは野鳥を知り、緑を愛することは野鳥を愛する」という活動目標をかかげて南部ジュニア野鳥

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				<p>教室から結成しました。それから 18 年が経ちました。主な活動は、緑の募金や山や公園に木を植えたり、宇治川で野鳥観察、河川敷きで空き缶及びゴミ拾いの清掃、テグス拾いして野鳥保護活動もしています。その他に宇治市名木調査や美化運動啓発看板立てなどもしています。（団員たちが公的な場で発表する時の前文）</p> <p>活動は JR 奈良線宇治川鉄橋下流右岸の河川敷きを拠点とし野鳥観察は勿論、清掃活動を主に今日まで続いております。発足当時の河川敷きには木も多く又土手らしきものもあり。野鳥も多く特にカワセミが巣を作りヒナを育てその姿がよく見られました。しかしご存じの通り木は切られ、水面はコンクリートで固められ河川敷きも綺麗になり、又川の小さな中州の石ころもなるめられ、ややこしいものはなくなり本当に美しく綺麗になりました。が、これによってカワセミの巣場所はなくなり、木に止まり羽根を休めていた鳥たち、中州の小さな島では渡り鳥（冬鳥のハマシギ等多くの野鳥が安全な場所でゆっくりと羽根を休めていました。それも今は数も少なく殆どみられません。</p> <p>人命第一、水害事故未然防止、又宇治は有名な観光地で景観優先、並々ならぬご努力によって綺麗なすばらしい宇治川になりました。又堤防で多くの方と雑談の中、60 才代主婦の方は「木が切られ綺麗に整備されていていいですね、」と更に川下の木も全部切ってもらえばいいのにと、又 50 才代の主婦は犬を連れて散歩の方は、「自然が一杯、緑があって野鳥のさえずりが聞こえたり心がなごんでいたのに何故こんなことをするんだろ」と、又魚つりの人は川が綺麗すぎ、木の根コによどみ（深水）がありここでよく釣れていたがもう駄目ですと、改修工事後、14、5 名の一般の方との話しでは、綺麗になってよいですが、3 名、木を全部切らなくても緑を、木陰を少しでも残して欲しかった。3 名、残りの人は一方的にそのままにして欲しかった。</p> <p>少年団の中では、綺麗になり過ぎて、殺風景で味気無い、中州で色々な野鳥が羽根を休めているのを見ると心が和む、の音が殆どでした。</p> <p>水害ついて、今の住宅事情が続く限り水害は免れないだろう。山をけずり、平らな野原は住宅、工場、道は全て舗装され集中豪雨でもあれば一気に流れ込む氾濫は免れない。（城陽市の農夫の話し、見てご覧指を指し山の上まで住宅、昔はこれくらいの雨では氾濫しなかったと）</p> <p>1、宅地、住宅分散、昔のように堤（調整池を多く作る）</p> <p>1、昔のように曲がりくねりの自然の川、（水もよどみ、魚の生息もよくなり川と共に自然が復活）</p> <p>1、河川敷きのある所、川面を全てコンクリートで固めるのではなく、昔のように、一部分でもよい、木の杭を魚が出入り出来る隙間を開けて打ち込む、（生木は水の所であれば百年はもつと言われている。特に松の生木は強い）杭の内側にグリ石を入れる。魚の絶好の住家となる。また木材不況山林農家の活性化につながるのでは、木であればコンクリートのように手足を擦りむく怪我も少なくなるのでは、</p> <p>安全で費用のかからない尚且つ効率で目的達成はよいのですが、川、水は、心の故郷、緑があって、虫がいて、鳥が飛び交い、一時でも心の安らぎが持てるような環境にして欲しい。</p>

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
7	JR 西労組合 新幹線支部 山本徳一氏	×	7/22	私達は、約 15 年前に組合で新幹線というソフトボールチームを結成しました。今もなお、活動はさかんで、部員数 35 名という状況です。 淀川連盟ソフトボールに加入しても 10 年以上がたちました。この間健康はもちろん、チーム内での人間の交流はもちろん、いろんなチームの方々とも、さまざまな交流をさせて頂きました。 今後共、地域交流の場として、塚本淀川河川敷のグラウンドは、現状のままとして頂かないと、淀川連盟ソフト自体の運営が出来なくなってしまいますので、ぜひとも、よろしくご考慮のほどよろしくお願い致します。
8	脇田東作氏	×	7/24	(中間とりまとめへの意見応募用紙に意見が添えられていました。) 6 月 23 日 (日) 京都会館でのシンポジウム 嘉田委員の発言 河川敷に農園を作り子供たちに体験云々の件も、極力流域の人たちが川の水を飲料として利水している以上汚染の原因となる要因だけは絶対に作らないこと。農薬や肥料はさけることを前提に河川敷を極力自然の状態に戻し、生態系の維持と治水、防災に努力してほしい。
9	岡本博志氏	×	7/29	今日の読売朝刊に出た一面広告を拝見しました。 一つご意見をお訊きしたいことがあります。 それは、なぜ河川について勉強したこともない、関わったこともない逢洋子さんのようなタレントをパネリストに選ばれたか、ということです。人寄せのためというの、ここまで来た委員会の質を落としてしまいます。むしろ市民感覚を聞く上で、滋賀県か京都府の主婦生活者を選んだ方が良かったのではありませんか。
10	山田洋子氏	×	8/1	淀川は数少ない干潟があり、又、ワンドもある。その為、生息している生物も特有なものがある。しかし、だんだんグラウンド、ゴルフ場が多くなり、これが淀川を生かす事なのかと考えさせられる。自然と共存した淀川を未来に残したいと、強く思います。
11	日本ゴルフ場 事業協会関西 支部理事、パ ブリック河川 敷部会長 小味淵敦雄氏	×	8/1	まず第一に第 11 回委員会にて、淀川の全てのゴルフ場は「パブリック制ではなく会員制である」との断定的見解が示され委員会の報告事項となって居りました。この件について申し述べます。 設立時パブリックとして発足したのは、樟葉パブリックゴルフコース、水無瀬ゴルフ場です。セミパブリックとして発足したのは淀川ゴルフ倶楽部です。何がセミパブリックであるかと申しますと、友の会会員制度であり、正式な会員制度でない事です。ですから入会金も 1 万円であり、返済の必要性のない入会金であるという事です。阪神友の会とか巨人友の会とかと同じ部類のものであるという事です。その後昭和 53 年度よりの建設省のパブリック化の指導に従い、昭和 57 年より完全パブリックとして淀川ゴルフクラブは営業致して居ります。その他の 3 コースは会員制として発足して居りますが、53 年度よりの建設省のパブリック化の指導に従い 90%以上パブリックとして営業致して居ります。尚詳しいパブリック化の現状は 3 場の意見提出を待つ事と致します。でありますから「淀川の河川敷ゴルフ場が全て会員制である」との委員会の断定は誤りである点ご指摘申し上げます。 尚会員制の種類について申し上げます。 1. 社団法人会員制 2. 株主会員制 3. 預託金会員制 4. 一部預託金入会金制

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				<p>以上の 4 種類はゴルフ場にて一般的に会員制と呼んでいるものであり、金額も高額に設定されているものです。</p> <p>5 番目の会員制として友の会会員制がありますが、これは金額も安く設定されて居ります。</p> <p>この分については営業的に客の固定化を目的とするもので一般的には会員制の区分けには入らないものです。</p> <p>第 2 に委員の選出方法についての質問です。追加の委員が任命されているようですが、何らの紙面上の紹介もありません。委員については手当及び交通費等も支給されて居る事でもあり、就任及び辞任については紙面にて詳細を報告して頂きたいと思います。</p> <p>委員の選出方法を是非お教え願いたいと思います。</p> <p>以上</p>
12	佐川克弘氏	×	8/1	<p>現地対話集会招聘対象者に関する件</p> <p>前略 第 17 回淀川部会の会場でもお願い申し上げましたが招聘対象者の選定に関してつぎの点を配慮していただきたく重ねてお願い申し上げます。</p> <p>1) 高水敷について</p> <p>ゴルフ場の経営者だけでなく、自然保護団体たとえば(社)大阪自然環境保全協会か日本野鳥の会も招聘する。</p> <p>私個人は高水敷は、委員会の山村委員と同意見で、河川生態系に(全面的に)戻すべきだと考えていますが、よしんば一部のゴルフ場を残すとしても、せめて河川生態系の保全のために配慮することは不可欠と思われるからです。</p> <p>また沢井憲二氏から要望されている通り、ゴルフ場が存在しているために淀川本流沿いに一般の人が川に近寄れないことも問題です。このことだけで沢井氏をわざわざ招聘することもないとは思いますが、ゴルフ場は高水敷でなくても多数あるのですから、そのことを再確認したうえで意見を聴取されるようお願い申し上げます。いずれにしても「野草広場」に芝という野草でないものを植えていることは“不自然”です。また運動場も本来都市計画でつくるべきだと考えます。貧困な都市計画でチビッコたちが野球ができなくなるのは気の毒ですが、野球場を廃止して本来の自然に戻せば、コンクリートとアスファルトで固められた町中では得られない“すばらしい世界”が出現し、子供達の健全育成に役立つことでしょう。しかし代わりの野球場がすぐには出来ないとするれば、子供達を泣かせる前に大人たちが先に泣いてゴルフ場を全廃してでも当面野球場は残さざるを得ないかもしれません。ただしこの処置も無期限ではまずいと考えます。</p> <p>2) 水需要管理</p> <p>関西のダムと水道を考える会が紹介してくれた 1999 年 10 月 17 日朝日新聞によると、農業用水と大阪市の上水道、大阪府の工業用水の水余りはあまりにも極端です。このことを配慮して招聘者を選定するよう切望します。また利水問題に詳しい人、例えば本間都氏(関西水系連絡会事務局長)を招聘したらいかがでしょうか。</p> <p>追って 1) の沢井健二氏の意見につきましては平成 14 年 1 月『一般からの応募意見集』受付 NO.162 をご覧ください。</p> <p>まずは招聘者の選定についてのお願ひまで。草々</p>

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
13	ブライアン ウィリアムズ 氏	×	8/6	ヨシ帯造成事業のあり方についてご意見が寄せられました。 別紙 1 を参照下さい。
14	山名真由美氏	×	8/8	淀川河川敷は大勢の方の幸せや楽しみの為にあると思います。その大勢とは小さな子供や小中学生ご老人等様々です。公園として利用されていたり、野球場、テニスコート等老若男女いろいろな使用の仕方があります。その一つとしてショートコースのゴルフ場も必要ではないでしょうか。大阪という大都会で手軽に安価で利用でき、たまにお会いするご老人たちも健康もかねてと楽しそうにまわっておられます。芝に農薬も使っていないし、ご近所の方に迷惑をかけていないと思います。私も足が少し悪いのですが、遠い山まで出かれられなくてもフラットの淀川のショートコースでリハビリになりました。絶対ショート・コースは必要と思います。
15	川田薫氏	×	8/8	淀川河川敷のショートコースがありとても助かっています。仕事が忙しいためなかなか山の大きなゴルフ場に行くことができずささやかな楽しみの一つとして淀川ゴルフクラブに運動、健康をかねて行っております。ぜひゴルフのショートコースを存続させて下さい。

ヨシ帯造成事業のあり方

意見書

ブライアン ウィリアムズ

終戦後、人間活動により琵琶湖周辺のヨシ群落の面積が圧倒的に減らされて来ました。

まず内湖の干拓事業で、飛行場を含む伊丹市の広さ以上の面積が消えました。続いて琵琶湖総合開発事業により湖岸沿いのヨシ群落の大部分（7～9割）が破壊されました。

当時の開発のあり方に疑問を持った学者団体がヨシの重要性を訴えましたが、無視されてしまいました。遅すぎると言える時期になって、ヨシの大切さが認められ、ヨシ保護条例ができ、更にヨシ帯造成対策が生まれました。遅かりしですが、こうしてヨシ群落の大切な役割がやっと認められるようになったのはありがたいことです。

しかし、そのヨシ帯造成事業のあり方を探ってみると、大きく疑問を持つようになります。数年前から県の水産課が最初、今津町と長命寺港近辺、現在は琵琶湖博物館の南に広がる津田江入江でこの事業を行っています。続いて、湖北の早崎内湖近辺で広範囲にこの事業を予定して、すでに工事の一部が着工されています。

聞くとところによると、水産課の設計したヨシ帯造成工事は1ヘクタール当たり、12億円かかるそうです。その内実際ヨシを植えることにかかる費用は、多くて4分の1に過ぎません。残りは石垣、離岸堤、又はバラスの入った針金でできた“ふとん籠”等に使われるそうです。なぜ12億円もかかるのでしょうか。経験者の話を聞くと、ヨシは適正な場所に植えれば、ヨシ自体が勝手に増え、調子良く育って持続するヨシ帯になっていく、でも不適切な場所に植えられるとかなり無理をしないと成果がさほど期待できないということです。

1ヘクタール12億円。水産課が今のあり方でのヨシ造成工事で成果があると言い続けていますが、どこまでの成果があるかという事を裏付けるデータがさほど出されていません。しっかりした研究に基づいて、十分な成果を証明した

上でないと何億円も使い続ける事に意味があるのでしょうか。 費用対効果のバランスは適正でしょうか。 きっとこのことをふまえて、景観破壊も加えて浅井漁業協同組合が造成事業を許可しなかったのでしょうか。

更に、大切なポイントとして、景観問題です。 水産課のすでに行った工事と予定してる工事の場所は、なぜかすべて琵琶湖の原風景がまだかろうじて残っていた所、そして、まだ残っている所であります。こういった(資料写真参照)野性味があって、近自然な状態で生き残っている場所は広い琵琶湖の中でも極めて少ないのです。 どうしてそういう所に限って美意識がゼロと言えるような設計で工事をするようになったのでしょうか。今は消えてしまってますが、昔、広く続いていたヨシ群落のあった所が沢山あります。 どうしてそういう所こそ復元しようとしないのでしょうか？

今までも、これから工事を行おうとしている所も、まだなんとかかろうじて自然が残っている所なのです。 これ以上人の手を人工的に入れてはいけない所なのです。

水産課のヨシ造成工事の設計は景観に対する美意識が欠けていると言える上に、生態系学の理解も少ないと言えます。 ヨシだけを増やせばよいといっているようです。 安定した持続可能なヨシ群落という生態系の中に、ヨシ意外に色々な種類の動植物が共存しています。 こういった“安定型”ヨシ群落生態系を復元しないと、モロコ、ニゴロ鮎などの安定した人口を支えることが不可能です。南湖の漁師の名言に“魚は自然が好き”、この言葉を忘れる事なくヨシ帯造成事業を進めていかないと、景観破壊と共に税金の無駄遣いとなります。



1- a

誰も知らない風致地区、草津市にあるつだえ...

3



1- b

遠景に三上山、比叡山、比良など
近景には野性味の残っている湖の原風景



2- a

この美しい風景がこの秋に県の水産化の事業により



2- b

直線化され台無しにされます。
その事業の目的を果たすのに、もっと良い方法があるのではないのでしょうか。

津田江葦帯造型設計図

- 現在の水辺
- 工事済み (ふとんかごによる囲い)
- 工事予定



1-aの撮影場所

— 現在の水辺

— 葦を囲む壁の位置

津田江地区計画平面図

1-b、2-a、2-b
の撮影場所

3- a



津田江の一部がもう既に、このように
つくり換えられました。

3- b



葦の生えている面積は増えましたが、
一定の高さに整えられ、水のほとりも
針金でくくられた石で直線化されました。



3- c

ほんもろこ、にごろ鮒は
産卵できますが、生態系が
単純化されたに違いない。
ここで豊富な種類の生物が
生存できるのだろうか。
はたして、安定した食物連
鎖が望めるのだろうか。
少なくとも直線化され、単
純化された景観には美的感覚
はない。



津田江の東北部の造成工事中。情緒のあった水辺が直線化される光景



シミュレーションで作成した、より望ましい葦帯造成案。
葦のみの単純化された生態系より 柳など他の植物も混ざったバリエーションの
豊富な葦群落。美しい不規則的な曲線で 景観復元にも役にたつ



シミュレーションで作成した 景観創りにも役立つ造成事業案
沖に 柳などまざった葦群落でできた小さい島



ヨシ帯造成事業以前の正常な葦の姿